

— 緑豊かなふるさとと子どもたちの未来のために —

私たちのまち上尾市は、かつて、武蔵野の雑木林や屋敷林、大小の河川に縁どられた田園など、多くの自然が残されていました。都心から 35km と地理的条件の良さも相まって、昭和 33 年の市制施行以降、田園都市から工業都市、さらには住宅都市へと変遷しながら、今では埼玉県の中堅都市として発展を遂げてきました。その一方で、豊かな自然は次第に減少するとともに、大気汚染、水質汚濁、都市型・生活型公害、廃棄物の増大など多くの環境問題が発生しました。



これらの問題に対し、平成 9 年の「上尾市環境基本条例」の制定や平成 10 年の「上尾市環境基本計画」の策定により、市民・事業者・行政が協働して解決しながら、環境の保全および創造の推進に取り組んでまいりました。このような地道な努力が功を奏し、河川の水質が改善したり、廃棄物の量が減少したりと目に見える成果を得ることができたのも、ひとえに市民の皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

しかし、昨今、人口減少の波が押し寄せ、本市の高齢化は急速に進んでいます。この少子高齢化は環境側面においても大きな脅威であり、先人から受け継いできた誇るべき自然環境を維持することに支障をきたすおそれがあります。加えて、地球温暖化も留まることなく、気候変動は年々悪化の一途をたどり、私たちの生活はゲリラ豪雨による浸水被害や熱中症による健康被害などの危険にさらされています。この状況を打破し、残された自然環境と安心・安全な暮らしを将来に引き継ぐためには、子どもから大人まで全ての世代が環境意識を醸成し、できることから行動することが求められています。そこで、この点を重視し、本改訂版では、環境教育・環境学習の推進や協働による環境活動を積極的に推し進めていくことを謳っており、次代の環境活動をけん引する新たな人材の育成に力を入れてまいります。

結びに、本計画を策定するにあたり貴重なご意見をくださった上尾市環境審議会委員や市民ワークショップの参加者をはじめとする市民の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後の計画推進により一層のご協力をお願いいたします。

平成 28 年 3 月

上尾市長

島村 豊

- 目 次 -

| | | |
|------------|--------------------------|-----------|
| 第1章 | 計画の基本的考え方 | 1 |
| 第1節 | 計画の基本的事項 | 3 |
| 第2節 | 上尾市の概要 | 6 |
| 第3節 | 環境政策と社会情勢の変化 | 12 |
| 第4節 | 中間見直しにおける課題の整理 | 15 |
| 第2章 | 計画で目指すもの | 23 |
| 第1節 | 望ましい環境像 | 25 |
| 第2節 | 目標と方針 | 26 |
| 第3章 | 施策の展開 | 29 |
| 第1節 | 施策体系 | 31 |
| 第2節 | 施策と取組 | 32 |
| 第4章 | 環境保全活動の定着・拡大を目指して | 57 |
| 第1節 | 環境保全活動をめぐる現状と課題 | 59 |
| 第2節 | 環境保全活動の定着・拡大を目指して | 60 |
| 第5章 | 計画の推進 | 67 |
| 第1節 | 計画の推進体制 | 69 |
| 第2節 | 計画の進行管理 | 70 |
| 第6章 | 参考資料 | 73 |
| 第1節 | 上尾市環境基本条例 | 75 |
| 第2節 | 策定経過 | 79 |
| 第3節 | 用語集 | 80 |

